



第114号 〒950-2022 新潟市西区小針4丁目5番18号 真宗仏光寺派 瑞林寺 光輪会 電話 (025) 266-1846 FAX (025) 266-1907 瑞林寺ホームページ http://www.zuirinji.com

「月に一度は私の寺へ」 開法の日 しんらんさまの日 一こころに仏の灯を 毎月28日 午後1時30分



自分を学び確かめる それが親鸞さまの日です お参りください

平成最後の 除夜の鐘 大晦日午後11時30分より 本堂にて 甘酒 を用意しております

ご家族でお参りください 「正信偈」 唱和 住職年頭のことば 光輪会会長あいさつ お屠蘇 大広間にて 元旦 午前11時より 月参り 1月6日(日)より始めます 初お講 1月28日(月)13:30より

月に一度は「私の」寺へ・・・毎月28日は「しんらんさまの日」

親鸞聖人報恩講 懇志志約者 (敬称略・順不同) 高橋 孝一 前田 公治 齋藤 孝行 小畑 清 須藤 ナヲ 花野 雅夫 伊藤 代志子 平島 伸一 村山 努 山崎 仁 鈴木 孝一 外山 和幸 岩谷 佑子 古谷 常敬 田中 誠司 熊谷 美英 中野 謙一 松本 美穂 長谷川 昭三 佐藤 隆夫 志田 正夫 西尾 純一郎 渡辺 幸子 伊藤 成七 中西 久美子 宮川 太一 丸山 一栄 高橋 暢夫 村上 芳枝 五十嵐 春司 横川 薫

報恩講の御礼 今年親鸞聖人七五七回忌の報恩講になります。報恩講の前に世話方の皆さんと声明の練習をいたしました。行誼正信偈は七日の大連夜、文類正信偈は八日の御満座でおつとめします。普段読まない節と言葉にもあつて報恩講当日は本堂いっぱいになり、報恩講の音が響きわたりました。

七日の夜は音楽法要。今年津軽三味線の長岡出身の木田亜矢さんに三味線の演奏と歌を披露してもらいました。佐渡おけさの津軽節など迫力ある撥さばきと美声は圧巻でした。最後のお祈りは吉峯教範師の節談説法。そして八日の御満座までの御法話とあつという間の三日間でした。今年のお斎の献立も二日間別メニュー。ご飯も炊き込みご飯にしました。来年も乞うご期待。お待ち申し上げます。



老院の探る 瑞林寺の由来と歩み 小針の地名を探る あらためて、小針の地の由来をたずねてみたいと思います。地名の針は開墾の「墾」ハリー針といわれます。墾は「荒地にすきやくわを入れて切り開く」意味で、新たに開墾した田を「墾田」といい、それを古い訓では「ハリタ」と読み「治田」「開田」と表されました。古代、治田連(ハリタのむらじ)や小治田宿禰(オハリダのすけ)など、開墾の功で与えられた氏姓に、また「新治(ニイバリ)」「小墾田(オハリダ)」など地名にもなり、墾田の文字が「治」針「張」春とあてられ、姓や地名となりました。

「新発見」新潟は 平島郷にあった 今日の新潟の町並みはこの国替えより百年ほど遅れた、江戸の明暦二年(1655)にできます。それより前、新潟は一体どこにあったのか謎でした。それがこの最近、新潟の地をめぐる論争が熱くなっています。それは、平島郷に新潟があった、という驚きの発見が平成二十一年にあつたからです。



この一年、瑞林寺の活動をテレビで取材して下さり嬉しい限りです。おもに寺子屋習字教室の取材が多いのですが、最初はテレビ新潟の夕方ワイドに「新潟市で騒然!子ども叫び声がする寺」という取材。答えは子ども達が習字の後、鬼ごっこで騒いでいる様子を取材して下さいました。次にNSTの八千代ライブという番組、お笑いコンビのうしろシティが来てくれ子どもたちも大喜びでニュース番組に「最近のお寺の活動」という取材、「小針の歴史を語る会」も取り上げられました。しかし悲しい取材もありました。小針駅ふみきり近くの少女殺人事件、住職が小針小学校の見守り隊の代表をしていくことで、事件後連日連夜の取材。住職も安心安全な地域を自負していたし、地域のつながりもあることに自信をもっていた矢先の事件に、身はズタズタに打ちのめされました。何より被害を受けたご家族のご心痛と悲しみは思いはかり知れません。お寺の活動がしきりにテレビに取り上げられる反面、同じ地域にいらがらこのような事件が起きてしまう矛盾。住職としての無力感を痛感させられました。

新年あけましておめでとーございませう。昨年度の目標を覚えていらつしやいませうか? 「月に一度は私の寺へ」 一こころに仏の灯を 月に一度、お寺にお参り下さいましたでしょうか。「私の寺へ」という言葉をどう受け取られましたか? 瑞林寺は住職の寺? いえいえ違ひです。瑞林寺は皆様一人一人のお寺と思えないのが正直なところでしょう。一こころに仏の灯を「これを水に映る月に響かします。月は天にたつた一つですが、どんな水の中にも映し出されます。綺麗な水でも泥水でも、どんな海にも映し出されましても、みんな平等に映し出されましても、みんなの身心を水に響かれば仏法が月です。どんな悲しく苦しくても、仏法は各々の身心に映し出され支え護つて下さる。その発信場所がお寺です。お寺で仏法聴聞し、その身をひたさげ日常の生活に戻つていく。いつしか私の身の器に月の光が灯されていくことに気づかされる。どうかお寺に足を運ぶことがご無理な場合でも、お寺を抛り処にお念仏をお祈下さいませ。

除夜の鐘では事前に108枚の整理券を配布。番号入りの記念カードになっています

Table with 2 columns: Date/Time and Event Name. Includes events like 元旦 午前十一時 修正会法要, 一月二十八日(月) 初お講, etc.

瑞林寺年間行事 新年あけましておめでとーございませう。昨年度の目標を覚えていらつしやいませうか? 「月に一度は私の寺へ」 一こころに仏の灯を 月に一度、お寺にお参り下さいましたでしょうか。「私の寺へ」という言葉をどう受け取られましたか? 瑞林寺は住職の寺? いえいえ違ひです。瑞林寺は皆様一人一人のお寺と思えないのが正直なところでしょう。一こころに仏の灯を「これを水に映る月に響かします。月は天にたつた一つですが、どんな水の中にも映し出されます。綺麗な水でも泥水でも、どんな海にも映し出されましても、みんな平等に映し出されましても、みんなの身心を水に響かれば仏法が月です。どんな悲しく苦しくても、仏法は各々の身心に映し出され支え護つて下さる。その発信場所がお寺です。お寺で仏法聴聞し、その身をひたさげ日常の生活に戻つていく。いつしか私の身の器に月の光が灯されていくことに気づかされる。どうかお寺に足を運ぶことがご無理な場合でも、お寺を抛り処にお念仏をお祈下さいませ。

毎月の開法会 しんらんさまの日(二十八日講) 毎月二十八日(午後一時半) 法話「正信偈」に聞く 前住職・後住職・後老院 宝池の会 毎月第三火曜日(午後二時) 法話「歎異抄」に聞く お経会 毎月第三木曜日(午後七時) 法話「阿彌陀經」に聞く 朝のおつとめ(お朝事) 毎朝午前六時より 毎朝第三日曜日(午後二時半) 文化・サークル活動 小針の歴史を語る会 毎月第三日曜日(午後二時半) 「西山公日記」を読む 他 適宜、郷土史を学ぶ 寺子屋習字教室 毎月三回金曜日(午後三時半) (月二回習字・一回硬筆) フットサル 毎週火曜日(午後八時)十時 場所 グラッセナフットサルコート

年末年始のお寺の風景 正月のお寺はお年賀・お年始参り、修正会法要から始まります。元旦には、家庭のお仏壇へお参りのあと、まず自分のお寺の本堂のお参りが真宗門徒の習い。ご案内のように、当山につらなる皆様、どうぞ家族そろってお参り下さい。本堂一杯のお参りです。新年が仏様に挨拶することから始まる。意味を考へる今年にして下さるご祈願をお願いします。除夜の鐘打ちも年々多くなり、時間前に参道から道沿い、仏壇店前まで連なり、順番の番号札をお渡ししています。鐘を打ち終え本堂に初参り、寒中冷えた身体に本堂で熱い甘酒のサービス。甘酒は毎年門徒の前田憲さんのご寄付です。年末年始は大忙し。大掃除にお花立て、お飾りの準備。除夜、年始の法要後のお屠蘇の用意など休みなし。二日、三日も元旦に都合でお参りできなかった方々がご挨拶。ようやく四日、五日に一休み、その間、不休のこともあります。寺役は六日から始まります。本年もどうぞよろしくお祈願いたします。